

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）地域説明会
（日比中学校区） 会議録（概要）

■日 時 令和 6 年 10 月 25 日（金） 19:00～21:30

■場 所 ミネルバ

■出席者 柴田市長、多田教育長、小崎次長、琵琶教育総務課長、的場学校教育課長、清山教育総務課参事

■参加者 41 名（保護者 34 名、地域 7 名）

1 開会

市長あいさつ、教育長あいさつ

2 説明

「玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（素案）」の内容のうち、日比中学校区に該当する部分を資料に沿って説明。

3 意見交換

参加者 1：資料のグラフ、児童生徒数の減少。横軸が昭和 55 年から 2 年おき 3 年おき 4 年おき 5 年・・・で平成 30 年から 1 年おきになってるんですが、最後は 5 年おきになってます。で最後は極端にがくつと減ったように見えますが、横軸を年で頒布図みたいにして順に下りてるように見えるのでそのへんはちゃんと作ってもらえますか。不安をあおるような書き方は良くないと思います。

事 務 局：ありがとうございます。間の年数のところについても埋めているグラフについても作ってほしいと思います。

参加者 2：令和 9 年度から宇野中へ自転車で通うようになると思うのですが、夏場とか炎天の中、日比から宇野へ自転車で行っている子で知っている子がいますが、暑いなか汗をかきながら 40 分くらいかかると聞きました。その部分も心配事ではあります。

子を持つ親はみんなそうだと思うのですが、そういうこと不安もありますが、横断歩道や信号、自転車道、街灯等の整備が 3 年できちんと、保護者の不安を取り除けることが出来るのかとか、玉野市内は今、イノシシやシカも出てきているのですが、その辺りのことが不安です。

通学中に事故や事件に巻き込まれた際は誰が責任をとるのかとか、統廃合の責任者の名前を教えて欲しい感じはします。

事 務 局：この学校再編を進めているのは教育委員会です。なので、教育委員会が責任を持って進めるということになります。子どもの親御さんにとって、通学距離が遠くなることは不安を持たれて、当然だと思います。通学路の安全安心の確保はしっかりやっていく必要があると思っております。

具体的に、中学校まで行く経路をどういう形で協議を行っていくのか。

まず、市道を管理している土木課のほうに確認して、宇野中学校にかけての市道「築港三井線」、自転車道になりますが、道路の舗装がもろくなっているの、そこをきれいにしてほしいということで、作業を行っています。来年度に向けて、改修作業をしていると聞いています。現在、市民病院から宇野中学校にかけての道路の舗装作業は完了しているという状況です。市民病院からレクセンターにかけてのところは来年度中に完了ということで、トンネルのところは L E D 化しているということです。

それから、中山トンネルは照明がオレンジ色で薄暗いのですが、これも今年度中には L E D 照明に変えて

いきます。

それから、三井造船の辺りは交通量も多いのですが、今、玉トンネルの工事をしています。岡山県の方に確認させてもらったところ、来年の3月には完了予定ということです。また、かなり道幅も広くなるということで、イメージとしては商工高校のところのトンネルですが、あんな感じでかなり広くなると聞いていますので、どういったスケジュールでいくのが一番いいのか決めていきたいと思っています。

責任者ですが、たとえば、スクールバスの運行中ということであれば市がやっていますので、市の責任になると思います。今もそうだと思いますが、歩いているときにということであれば、市ではないかなと思います。

参加者2：責任者の名前はまだわからないのですか。そういうの決めとかなないと話進まないのではないですか。

事務局：計画を進めていく上では、市の方が責任者となるかと思います。

参加者2：12月に修正案がでると書いてありますが、12月になったら決まるのですか。そこでもわからないのですか。

事務局：修正案出るときまでにはきちっとさせていただきます。

参加者3：玉・日比中学校区で想定される遠距離通学の範囲ですが、現時点二日比小学校だったら、バス通学が認められると思うのですが、そうすると二日比小学校くらいの子までバス通学の学区に入ってもいいのではないかなと思うのですが。

事務局：現時点でお示ししている計画では徒歩通学の範囲をおおむね3キロとさせていただいていまして、この3キロの範囲というのがだいたいこの辺りになるとのお示しになりますが、各会場で通学の距離についてはご意見いただいておりますので、この辺りについては修正案までに検討させていただきたいと考えています。

参加者3：距離だけでなく高低差も。

事務局：坂道や交通量についてもそのあたりの要素も含めて検討したいと思っています。

参加者4：宇野中へ1年生から入学しようと思っていました。人数が多い方が学習や生活において様々な体験や学びが多いのかと思いましたが、昨今の子どもの状況を見るとそれが本当に子どものためになるのかと疑問に思いました。

まず、なぜ中3から移行という方法を考えられたのか、みなさんすごく首をかしげられています。検討委員会の方で学識経験者や学校の校長先生がいるにも関わらず、なぜもっと最適な移行のタイミングが判断されなかったのでしょうか。資料の人数ばかり気にして、子どもの気持ちまで考えていないように思います。中学生も子どもの個性を大切に主体性を築きあげるのに大事な時期ではないのでしょうか。できれば3年間同じ学校で安心して基盤を作り、高校受験のステップを作っていくと親としては思っています。日比中での2年間を子ども達にとってもとても重大な年月であることを、教育委員会の方がたにもしっかりとわかっていただきたいと思っています。

参加者5：けがをしたときとか、そういうときだけのバスというのは可能なのですか。普段は自転車、そういうときだけバス。

事務局：バス通学のバスが路線バスなのかスクールバスなのか、今後の検討にはなりますが、座席の状況にもよりますが、けがをしているときだけ臨時でバスに乗るということは可能かと思います。

参加者5：基本的には再編するのは、子どもの人数が減っているからというのはわかっているので、私としては反対する気はないのですが、やはり一番は子どもの通学、安全というのが一番だと思っています。

地図の6キロ以内の円は、単純に円で書いただけなので、家から宇野中までというのはもう少し距離があって、そのラインでいうと二日比小学校を少し出してしまうのではないかなと思います。スクールバスを絶対出してもらえるのか、スクールバスだったらお金が無料なのか、路線バスならお金がいるのか、そういうのも気になりますし、路線バスを使うなら7時半に宇野中に着くものしかなかったり、その次は8時半に着くので間に合わなかった

り、というのが現状です。

なので、バスの便を増やしてもらったり、市で運営してもらったり、そこがバスをちゃんと出してもらえという確証が欲しいです。

事務局：安全安心のところと、バスの話は大事なところだと思っています。今、時間帯的に7時半とか8時半とか使えないと思いますので、宇野中に行ける朝の時間帯を確保していきたいと思っています。

それからスクールバスにしても路線バスにしても、遠距離通学の範囲になっているところについては、保護者負担はないというかたちになります。

参加者6：和田とか明神町とか、日比、どこへいってもイノシシが庭を荒らしたとか、いうのが増えています。

事務局：危険箇所も把握しながら通る道の安全確保していくように、地域の方に教えてもらいながら一緒に考えていきたいと思っています。再編準備委員会でも通学路の安全を考えるとところもありますので、できる限りのことをやっていこうと考えています。

参加者7：大人の意見も大事だと思うのですが、子どもたちにも簡単でもいいので今回のことについてアンケートなりとする予定はないのでしょうか。

事務局：子どもへの計画の周知というのは必要になってくるかと思ひますし、子どもがどう感じているかということも伺いたいと思っていますので、近いうちに子どもへのアンケートは実施する予定です。学校のほうでする予定です。

参加者8：バス通学の距離を決めなくてはいけないのでしょうか。12月に修正案を公表してパブリックコメントではなく、また地域説明会を実施するということはないのかなと。パブリックコメントよりも地域説明会のほうが保護者にも気持ちが伝わるのではないかと思います。

事務局：バス通学の距離についてですが、どなたでもバスに乗ってくださりと言えれば一番いいのですが、財源とかバスの確保など様々な課題もありますので、今回3キロとさせていただいております。

パブリックコメントではなく地域説明会をもう一度ということなのですが、現在予定はさせていただいていません。

参加者9：合同授業を考えていると言われましたが、どういった感じでやるのか、どういった合同授業なのか、どちらかの小学校や中学校の子どもたちがどっちかに行ったりとか、それともズームみたいなので交流をはかるのか、どういった考えでられるのでしょうか。

事務局：いろいろ学校の方で考えております。たとえば、何か行事とか活動を一緒にすると、どちらかの学校が移動して一緒にということも考えておりますし、授業をリモートで一緒にやって意見交換であるとか、考えております。学校からこういう活動をやっていきますとお知らせがあると思います。

学校の再編とは別の動きで、来年度から銚立小学校が胸上小学校へ行く話があります。来年の1月～3月にスクールバスに乗って胸上小学校のほうに行き、実際に一緒に授業をする。スタートする前に顔見知りになり友達になる、そういった取り組みを銚立と胸上で進めております。同じようなかたちで、事前に交流をしっかりやった上でスムーズに新しい学校に行くというかたちを考えております。

参加者10：先ほど通学路における危険箇所を教えてくださいということでしたが、通学路がわからないのでそれがいつ頃わかるのか、それがわかってから言って直してから行かせたいので、先にそれを教えていただきたいです。

事務局：再編準備委員会の中で2年から3年くらいかけて話し合っていくのですが、通学路の安全部会の中で一番良いルートを考えていきたいと思っています。

参加者11：保護者のみなさんから切実な要望が出たのですが、聞いていたら、これだけやってあとパブリックコメントだけでもう終わり、大方の住民のみなさん、保護者の皆さんの合意は得られたから確定すると。今、素案ですよね。ちょっと無茶ではないですか。少なくともこういう意見を真摯に聞いて出来る限り保護者のみなさんの声を生か

せるような道はないかということを検討して、その上でもう一回意見の交流をしながら方向性を決めていくのが筋ではないですか。そりや教育委員会の中で2年か3年かけて検討したんでしょけど、こういう場で発表したのはついこないだですよ。6月ですから。上から目線の進め方はどうかと思えますよ。私はもう一年延ばして欲しいと思います。みんなに浸透するために。説明会は1回で終わりじゃないですか。パブリックコメントはわたしも今まで何回か出したけども、適当な意見を書くって検討されるだけじゃないですか。今出された保護者の意見は重要だとも思いますよ。かなりの距離を自転車で中学校まで行くんでしょ。場合によっては暑い中行くんでしょ。はっきり言って柴田市長も教育長も何考えてるのかわかりません。こんな無謀な計画を1年くらいで一気にやるなんて市はないですよ。

そして、行財政改革の中にも書いてある、つまり財政はどう効率化するかという観点からも小学校の合併問題、中学校の合併問題出ています。予定通り出てます。ここにあるのは行財政改革計画です。

だから、子どもたちのためにというのがよくわからない。あなたたちの言う適正化というのは何を基準に出てきたのですか。これは文部科学省が標準規模というのを決めてますよね。一つの学校で12学級以上から18学級。これは標準規模です。要するに1学年1学級ではダメだと。2クラスなければ適正ではないと、これは文科省が出している案ですよ。みなさんヨーロッパをふくめた先進的などころをね、だいたい1学校は100人から多くて200人。しかも、1学級のクラスは20人前後にするんですよ。要はなかなか文科省が進まなかったときに出てきた案が35人学級ですよ。今度ここで統廃合したらどうなるかと言ったら5年度日比中学校の学校が出来たら1～3年生が1学級ですよ。4つの学校集めても、1学級のままじゃないですか。そこから3年経ったら全学年1学級ですよ。すでに2年後くらいに合併すると言われている胸上小学校や銚立、後閑が合併したってはじめから1学級じゃないですか。これはずっとこれまでだって日比小も二日比小もかなりの長い間少子化と言いながら1学級じゃないですか。じゃあ1学級の子どもたちは何か大きなデメリットがあって、教育上の欠陥があるのかと。そんなにないでしょ。いわゆる教育学的な検討されてないですから。要するに文科省のいいなりにとにかく学校を効率化して、財政をなんとかして削っていきなさいということで一気にするようにしたんですよ。

私も確かに子どもも少なく人口も減っているから公共施設の統廃合は仕方ないと思います。しかし、それをする際には賢く統廃合をするということが必要なんですよ。十分に住民のみなさん、保護者のみなさんと話し合って、かなりの方の合意や納得や理解が得られてやるべきものなんですよ。柴田市長は何考えてるのかと思うよ。こないだみんなに公表して一気にやっってしまうという。やっってしまうなら1学年2クラス以上にするのが基本ではないですか。5年したらすぐ2クラスなりませんよ。だからむしろ進んだ国は子どもたちに向き合うようなことを先進国ではしているから、20人前後くらいが一番子どもにとっていいんです。令和の学校教育というのは、学校のあり方というのは、その良さを生かしながら子どもたちの個性を生かしていく。そしてよくいじめや不登校の問題が出てくるけど、それは先生方がきちっと配置されて子どもの数が多くなればいいんです。今度合併した時に34人学級になるじゃないですか。今まで日比小や第二日比小は20人前後だったんですよ。だから、もしするなら、第二日比小と日比小学校をとりあえず保護者のみなさんを含めて統廃合検討された方がいいんじゃないですか。どっちかと言ったら1学年1学級ですよ。

それをこんなに急いでやりだしたらきりがいいとか無茶苦茶ですよ。こんな1年前にみなさんに公表して、5年後には学校をこんなに減らすというならそういうところが政令市でありますか。5年以内に中学校が3つにして、小学校は4個にするんですよ。すでに胸上なんかはしようとしているのでしょ。何の意味もないじゃないですか、1学年1学級しかないのに。1学年1学級で何も問題ないんですよ。それだけたくさんの人の子もた

ちの意見を聞いて、ほんと一人一人に向き合う教育が世界の流れなんです。それを文科省は、日本の教育は下から二番目か一番下ですよ。そういう記録を出してないのです。だから、本当に子どもたちのためや安全を考えるなら、何も無理矢理 1 学年 2 学級にしなくても、第二日比小は何年も 1 学級じゃないですか。それで育ってきた子どもいっぱいいますよ。玉野市に、その子たちに何か問題があったかな。そりゃ確かに自然の流れとして 2 学級あればクラス替えがあるからそれを否定する訳じゃないですよ。でも、新規に学校は必要だ、子どもは何でも必要だということで一気に 4 つも学校減らしてどうするんだ。教えてくださいよ。どのくらいの間こんなにつぶしていくん、学校を。そんな岡山県下に都市がありますか。政令市は全国規模違いますからね。岡山市 70 万ですよ、倉敷市は 30 万ですよ。私が調べたらその政令市を除いた以外で学校数だけ見たら 1 学年 1 クラスの学校は 7 割ありますよ。子どもの数でいくと大規模校があるから、半々か半分よりちょっと少ないくらいの子どもの数の別れ方になるんですよ。だからあなたがた頭をちょっとよく冷やして、さっき保護者の方からでたように、もんでもんでそのあと説明会をして、そろえたっていいじゃないですか 1 年くらい。だから先々の統廃合考えるしあり得るだろうと。だけど、あなたがたは予算の関係だけで一気にやろうとしている。じゃなかったら今までの 1 学年 1 クラスのところはどうなるんですか。それは不適切な学校だから子どもたちに問題が生じたんですか。そんなことは全くないでしょう。今の社会の流れはそういった形になっているんですよ。だから、日本は令和の学校の流れとしてはそれを進めればいんだけど文科省は金のことを考える。統廃合の進め方に、小中学校合わせて 170 億のお金が削減できたと財務省の中で戦果としてやっているのですよ。もう少しまじめに保護者のみなさんや子どもたち、地域の方も含めてやってください。

わたしはいくつか申しましたが一人一問とか言っていましたけど、あとからまた聞きたいこともあるから。八浜中学校区にきた人はほとんど反対だったみたいだけど、60 人きて。なんで八浜の人間が荘内まで行かないといけないのか、当たり前じゃないか。ものすごく歴史のあるところだから、荘内は昔は荘内村、八浜は町だから。荘内に行ったところでなんてことない、合併したところで東児が合併したところで人口は変わらないのに何で合併しないといけないのかと声がものすごく出たと聞いてますよ。奥玉小学校の玉中学校区のもそうですよ。けっこう反対意見出たと聞いてます。今日の意見やまだある意見をしっかり聞いて、玉野市の教育とはどうあるべきなのかと地域をどのように活性化するのか、こんなことしたら地域はますます寂れるよ。

一步譲ったとしても、第二日比小と日比小、玉小と玉原小、がみなさまの賛同を得られるなら。10 年 15 年先のことを今考えても仕方がない。それなのに玉野市は人口減少するのに今の本庁舎は大規模な本庁舎つくるじゃないですか。何十億かかるのか。それを遠慮なしにつくって、子どもたちにしわよせしちゃうじゃないよ。もうちょっと市長さんしっかりしてくれないと困るよ。玉野市をつぶす気かと言いたくなる。

市長：今回の計画は先ほども申し上げたように、子どもたちに最適な教育環境を作るためにどうすればいいかと答申を受けて、それを出来るだけ実現するための素案を教育委員会で作っているというものになります。1 学年 1 学級が悪いとは決して思っていない。私も子どもたちが築港小学校で、ただ、人数というのはありますし、今の案ではこういった形でするのが適切だということで計画しております。

ただ、もちろんこれは素案ですから、絶対これで通すとか、スケジュール的なものも含めて、ひと通り説明会をやったあとでご意見をいただいて検討はさせていただきます。

参加者 11：岡山県下の政令市を除いた津山や新見、1 学年 1 学級のところばかりじゃないですか。そんな学校が、あなた方が計画したように 5 年以内にそんなに潰そうとする、統廃合するところがありますかと聞いています。

事務局：県内他市の状況ですが、自治体ごとにやり方は異なると思います。こういった形で全市的計画策定をしている県内の自治体というのはありませんが、他の自治体では地域ごとに個別に取り組んで、現在 2 期目に取

り組んでいる自治体があるということは聞いています。

参加者 11：だからひどい話をしているんだ。どこにも例がないんだ。

事務局：一つ訂正させていただきたいところがあります。先ほど行財政改革として財政的なところで進めていると言っていました。これについてはあくまで行政改革、行政業務の最適化というところで進めておりますので、財政的な面で進めているのではないということをご理解いただきたいと思います。

参加者 11：行財政改革というのは財政問題の改革が入っているでしょ。

参加者 12：私は別に反対はしていません。それに、1 年が早いとも思っていない。ただ、しっかり考えてやってくれるなら、1 年でも大丈夫です。保護者の意見を聞いて、それを盛り込んでくれるなら大丈夫です。

参加者 13：当事者なので子どもも連れてきています。本人は他の地区の子どもと一緒にになりたいと本人がここで言っています。前に進まないとか、反対する意見はやはり辛いと、今、ここでも話しています。

子ども自身も前に向かって進もうと考えていますので、こうやって意見交換という場所をしっかりと考えてくださっているので私自身も反対ではありませんし、子ども自身もそっちに向かっていきますので、こういった場を設けていただければ十分かなと思っています。

参加者 14：玉野市立学校適正化計画の草案というのが令和 4 年の 4 月に出ています。

その時もアンケートをとったのですが、アンケートのやり方が、学級の人数は何名が適切ですか、学級数は 1 学年いくつあったらいいですか、というなんとなくふわっと、こうだったらいいなという、実際は 1 クラスしかないのに 2 クラス合ったらいいよな、人数も 15 人より 25 人の方がいいよなというアンケートをとって、誘導したような質問がたくさんあったんです。それは子どもと保護者には出したけど、地域の人には全く出さなかった。市民センターに行ってみたらあった。市民センターの人が、教えてくれなかった。ひどいところになったら、ボックスのところにに入れていて、言ったらありますと出して出してくれた。そういうところもありました。

だから、地域には何も知らせずに統廃合を決めようとしている。そして、その統廃合を決めるのは子どもと保護者だけではなくて、小学校というのは地域の一番中心になるところだと思うんです。だから、小学校があるところには郵便局があったり、お店が出来たり、バス停ができたりとかそういったことがあって町は成り立っていくんです。だから、日比・二日比も一緒になるとしてもどこか、二日比学区だったら信用金庫なくなりましたね。どんどんなくなっていくんです。

でも、学校があったらそこから何か産業が出てくるかもしれない。減る減るだけではないけなくて、向日比は市営住宅空っぽですよ。ほとんど人がいません。そういうふうにしたのは市です。たくさんの人を集めたら若い人も入って生活困っている人も喜ぶかもしれない。でも、そういう活用をしないで、子どもが減る、人もいないということでは地域を市が小さくして、年寄りばかりの町にしていくような気がして、私はすごく悔しいです。

だから、そういう地域を盛り上げるための方策をとったらどこかの地域はもっと子どもが増える可能性もあるのだからそういうところも考えて欲しいと思う。いつも減るんじゃないんだよということを考えて欲しいと思います。最初の草案の時もなんですが、今回の素案が出ているのも、それぞれの地区のことしか知らせない。でも、玉野全体だったら厚いので、これは前回の時の各地区の様子全部書いてあるはずなんです。こういうのをちゃんと地域の人、主立った人に出して、ここの地域こうしてるよとか、みんなで考えてもいいと思うんです。日比・二日比、玉・玉原この四つのところだけでなくいろんなところをみんなが考えるようにして、統廃合を考えていくのがいいんじゃないかなと思います。

もう一つは、鉾立小学校がすごく古い建物だからこれを耐震化しようというって、市長さん言ってくれたけど、市議会が蹴りました。次の年に、耐震化したプレハブを建てる予算を出してくださいと言ったら、また市議会が蹴

飛ばしました。

これはどういうことですか。鉾立小を元からつぶすつもりで市議会が動いたとしか思えないです。統廃合と関係ないと言われるかもしれないけど、これからすぐに統廃合、胸上小に行くよという話がでて、その後急に玉野市全体の統廃合がわーっと出てすすんでいった。大学の先生も含めての話も出てきたから、でもその中で小さいところとか地域のことももっと考えていいんだよとそういうことも言われてるのに、全く無視して最初の草案の分がそのまま今回の素案に出ています。

だから、もう少し地域のこととか子どものこと、僕は統廃合いいよと言われたけど、そうじゃない子もいるし、親の都合で何かあったとき迎えに行けないとかいろいろなことがある。不登校の子どももたくさんいる。今不登校の子どもは特に大きいところに行ったら、なお壊れます。特別支援の学級に行くにしても、やっぱり負担がすごく増えると思うんです。だから、そういう面も考えて、私としては一気に大きな統廃合をするべきではないと思っています。もっと小さいところで大事に育ててあげる、ただ複式がいいからと言ってよそから複式の学校に転校してきたというも玉野市で聞きました。そういうふうな子どももいる。小さいところもそれぞれ歴史が玉野にはある。ある先生に、玉野の学校はすてきねと言ってもらいました。それは教育予算をつけてそれぞれすばらしい校舎をそれぞれに作ったからそういう言葉を言ってもらったと思うんです。だから、これからの玉野も、日比小は新しいし、玉小も新しいのだから、そこに行って二つに分けるという方法も十分考えられて、日比中をわざわざ改修するのにすごいお金をかけてするよりは、それぞれのところでこじんまりとした、学校が出来た方が、子どもは安心して育つと思います。特に小学生の時は。親だって、家の中で子どもを大事にしていたら子どもはお母さんがいるから安心して外にでれるけど、大きいところは外に出るのが怖い。小学校だって一緒だと思うんですよ。少ない先生でゆっくり教えてもらったなら子どもは大事に育て、そして中学校に行ったらそこで力が出てくると思うんです。小さいときから切磋琢磨というのはどう見ても学力テストをするのと同じで、私は受け入れられてないと思っています。

それから、ここ以外のところで、聞いた話なんですけど、バス 1 台でしたら 1,000 万円がいる。と言われているそうです。先生が減るのではないかとすごく心配している人もいます。もう一つはお金のことですが、統廃合したらお金が浮くんですかという話ですね。先生もいなくなるし、校舎もなくなるからと言ったら、回答が、今のお金と統廃合したときのお金は変わりませんと聞きました。それなら統廃合しないでいいと思いました。ただ何のために統廃合しているのかわからないけど、お金がこれだけ浮く、私は先生の数が減るといのがすごくつらいと思うんですけど、100 人ちか先生が統廃合したらいなくなるということです。特に市が雇っているお金を他に使えるのではないかとと思うのですが、バスを買うんですかね。子どもや親に無理をさせて遠くまで行かせる必要はないと思います。

参加者 15：令和 9 年の合併の年に小学校に入学予定ですが、スクールバスの置き去りの事故が怖くて、それに対して何か対策があるのかということと、置き去りにならないために、保育園だったら、ここを押すんだよとか、教育委員会の人と一緒にやってくれてると聞いて、そういうのを一緒にやってくれたら安心するのでお願いします。

事務局：スクールバスについてですが、鉾立地区の児童が胸上小学校に行くためのバスに置き去り防止装置というのを取り付けます。運転手がエンジンを切った後、必ず後ろまで行ってボタンを押さないと鳴り止まないというものを取り付けるようになります。また非常口もありまして、非常時はここを押して出るんだよと何回か試乗などの体験を通して覚えてもらうなどの工夫はしていきたいと思っております。

参加者 16：様々な意見があって、いろいろな見方があるのだと、参加して勉強になった面もあるのですが、去年まで幼稚園だった子どもを持つ親としては、やはり一番は子どもの安全性、中学生にもそれは変わらず、やはり痛まし

い事件が起きたときに、あのときもって言うておけばよかったなと後々思いたくないというのが、今のお母さんやお父さんが思っていると思います。やはりバスが要となっていると思っていて、より多くのバスを出してもらって、季節・天候が悪いとき、天候はやはり昔とは違って、大雨の時に自転車で行かせて事故に遭うというのが、道を舗装してもらったかよりもバスが一番と私は感じています。みなさん今日言えなかった方もいらっしゃると思いますので、何か小学校にも申したいと、意見のアンケート今日来られてない方も、もっと違う意見が出るかもしれないので、そういった情報の収集等してもらえるとありがたいと思います。

参加者 17：私が中学校へ行くので私が全部決めていいと思いますが、別にまとまってもいいと思います。そのまま中学校に行く友達もそのままだし、もっと友達が出来た方がうれしいと思います。それにはいろいろ考えた方がいいと思いますし、私自身も友達が増えた方がうれしいと思っています。いまのままだと、ずっといまのままだと嫌だと思う人も思うし、まとまった方がいいと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

参加者 11：電子で申し込みしたときに、質問があれば書いてくださいということで、私は 8 個も書きました。今の保護者の方や子どもさんの意見もあるので、それは確かに賛否両論というか、1 学年 2 クラスにした方がいいとか、そのままでもいいとかいろんな意見があると思います。

小学校や中学校は地域にとっては非常に大事な施設なんですよ。そういった意味ではもっと十分な議論、市長や教育長は、保護者だけの賛同があればいいだけではなくて、やっぱり地域の方々も含めて、自分が出身した学校でもあると思いますし、これならやむをえんという形で大方の合意、もちろん反対する人もいるでしょう。大方の合意が得られたという感覚をどう判断でされるのかということですね。今のままではなんとなくすぐ来年の 3 月には確定してあとは粛々と準備会を開いて合併に突き進むという形になってしまっているの、それはちょっとどうか。何をもちて合意と、住民や保護者、子どもたちの声を得られたかというのは筋をきちっとしてほしいですね。

それからもう一点は、なぜ市採用の教職員や維持管理費等含めて玉野市の財政を、このことが完成したときに、どのくらい財源的にコストカットできるのか、ある程度のアバウトでも予想されていると思うので、それを聞かせてください。もちろん県費の先生方は県ですから直接市が払うわけではないですよ。

その辺が 1 点と、もう一点はさつき市長さんが言われたけども、1 学年 1 クラスでも問題があるとは思ってないと。そしたらここで 1 学年 2 クラスで進めようとするのは、やっぱり効率化じゃないですか。

それからもう一つは、5 年後の令和 11 年には 1 年～3 年は 1 クラスなんですよ。その 3 年経ったら全部 1 クラスなんですよ。それも 20 人くらいでしょ。少子化なんですから。だから、私はステップを一個一個踏みながらある程度統廃合もやるのもあると思う。市長の言ってることといまやることがあまりにも乖離しているんですよ。適正規模というのは文科省が標準規模作っているからそれが適正と言ってるのでしょ。だから矛盾しないようにきちっとしてほしいと思うんです。別に 1 学年 1 学級でも、多いに越したことはないけど、無理矢理ひっつける必要はないと思います。私は日比中学校が今のままでも別にいいとは思っています。宇野中まであんな遠いところまで行く必要はないと思います。小規模校は小規模校なりに他の学級と交流したり、全国でいろんな形で小規模校の持つ子どもたちの社会性を身につけると言う意味では地域の人との交流も含めていっぱいやってます。全く支障はないとは思っています。そういう取り組みをすればいいことなんで。今うちの団地でも高齢者の人が旗もって子どもたちの安全のために毎朝やってますよ。そういう姿が無くなって、お帰りなさいと言うことも無くなる。地域と学校との関わりは本当に深刻なんですよ。重要なんですよ。それを聞かせてください。それからお金がどれくらい削減できるのかね。

事務局：合意形成の関係についてですが、明確な合意の判断基準はないですが、学校再編というのは住民投票という形で決めるものではないと思っております。

現在、児童生徒の保護者の方や地域の方、PTA等から直接電話やメール、地域説明会等で多くの質問やご意見をいただいております。その都度できる限り回答はさせていただいております。

また、全体に周知した方がよい情報についてはQ & Aの形にまとめてホームページに掲載したり、保護者の方に直接配布したりしております。

こうした取り組みを重ねながら学校の再編に向けた教育委員会の考えや保護者の方の不安や疑問を解消しながら計画についての理解を深めていきたいと思っております。

計画の策定後も、学校再編までには2年から3年程度の準備期間もありますので、保護者や地域の方に説明を行いながら、保護者や学校、教育委員会等で組織する再編準備委員会においてみんなで話し合い、理解を図りながら新しい学校の形を作っていきたいと考えています。

それから経費についてですが、市費の教職員について、銚立小を除いた数としては小中学校合わせて11校減ります。司書さんと用務員さんの人件費を市としてみっていますが、一校当たりの運営経費というのは学校規模や年度によって異なるのですが、施設の修繕費用の工事費などを除き約1200万円程度年間かかっております。単純計算ですが、銚立小を含めて、約1億5千万円程度となります。ですが、教育委員会としては、これについては教育環境の充実のために再編すると考えておりますので、この金額がそのまま削減額になるとは考えていません。教育環境充実のために実施しているため、削減した経費については再編後の学校運営の充実のために回していきたいと考えております。

それから、1学年1学級にしかならないということですが、クラス替えが出来る規模を目指してはいるのですが、どうしても子どもの人数が減っている中、これ以上地域を広げて学校を統合すると、適正配置という観点から非常に難しいと考えています。より遠くなりますし、配置を考えて1学年1学級にしかならないのですが、この配置の再編とさせてもらっています。

適正規模を進めていっている理由として、たくさんあるのですが、まず2点。

今の子どもたちが社会に出て社会を生き抜く力、そういった人間力を育成する、それが大きな目的です。本当に今、激動の社会、変化があるこういった時代の中、子どもたちが生き抜くための力、それはいろいろな人と関わる中で、たくさんの方の考え方や価値観に触れながら、思考力や判断力や表現力、コミュニケーション能力、そういった力を身につけて社会に将来出て行く、といったところが重要であると考えています。

もう一点は、先ほどから学級数の話がでていたのですが、我々は適正規模というところでクラス替えが出来る1学年2クラス以上というのを目指しておりましたが、確かに残念ながら4校一緒になっても令和11年については1～3年は1クラス、4～6年については2クラスから3クラスと、全学年が複数学級にはなりません。

ただ、そうはいても少なくとも半分は複数学級になることで、クラス替えが出来たり、いろいろな人との関わりというところで環境が整えられる。

さらに教員数で考えますと、たとえば今のまま令和11年度までそれぞれの学校でいった場合、教員の数は学級の数で配置が決まられ、4校には管理職以外は担任の教員数しか配置にならない。

ですが、たとえば4校が一緒になることで全部で10クラスになったとき、担任プラス一人、担任以外の教員が配置になります。さらに、単純に学校の教員数、教職員の集団で見たときに、一緒にならなければ、7から8人といった教職員集団です。これが4校一緒になることで、管理職含めて13人の教職員集団、ざっと倍近い教職員の数が増えるということは、年齢層や経験、先生方もいろいろな教職員がいる集団になります。

教職員の資質向上にもつながり、それが学校の教育力、組織力の向上につながります。

子どもたちにはいろいろな友達と出会い、いろいろな先生とも出会う。そういった機会を経て子どもたちにとっていろいろな可能性や選択肢を広げるといことは大切であると考え、このような計画を進めているところです。

参加者 11：結局それだったらいまの時点で県下の新見や高梁、あらゆるところがほぼそれに近いような足並みで大なた振った学校作りやるんですよ。しかし、玉野市の考え方はそれと違って一気にやろうとしている。

だから、そこに玉野市長さん、教育長さんの問題課題があるし、議会のチェック機能も十分じゃないです。こんなとこないですよ。あるならみんなやりますよ、文科省の指導の下やっているんだから。だから、それぞれの市長やそれぞれの教育委員会が独自で、やっぱりここは最低限でがんばろうとかね、やっているんですよ。そういう足並みが岡山県下の県教委のもとで進んでないのがそれぞれの実態なんですよ。玉野市くらいですよ、子どもたちがどうするんだらうというくらい激しくね。だからそれはありえない。もうちょっと頭をよく冷やして勉強してください。障害を持ったお子さんが増えたりね、今いろんな形で不登校の子が増えたりね、どういう学校がいいのか。岡山県内の、岡山倉敷を除いた7割の学校は1学年1クラスで行っているんですよ。それはそこに良さがあるからです。もうちょっと勉強してくださいよ、皆さん。市長も含めてね。玉野市のため、子どもたちのために思ってね。

参加者 18：さっき先生の数が7人から倍になるといってましたが、子どもの人数から割ったときに、何人の子どもを一人の先生で見れるか、目が届きにくくなると思う。いいことばかり言わず悪いことも言ってください。

事務局：確かに一クラスの児童・生徒数は増えます。ただ、小規模・大規模・少人数・大人数、人数に限らず、先生方は人数に限らずそれぞれの学校の子どもたちをしっかりと見て大切にしています。数字で言うところにあるように、1クラスの児童数につき一人の担任ということになります。

参加者 18：先生は増えるけど、先生が見る子どもの数も増えるわけでしょ。

事務局：学級数が増えることで、課題であったり支援がいたりとまた違った対応というのは考えていきたいと思っています。